表丹沢方面の自然公園情報

日付：令和 8 年 11 月 13 日（金）
コース：吾妻山―矢倉沢道―弘法山―権現山
天気：晴れ
気温：19℃（12 時頃、弘法山山頂）

●登山道だけでなく一部江戸時代の矢倉沢往還を歩くのが特徴の道です。なだらかな里山の畑地が横につづき善波隧道に向かいます。昭和初期の隧道完成まで善波峠は難所だったようです。周辺に見られる馬頭観音はそんな歴史を反映しているかもしれません。



矢倉沢往還の一部を通る関東ふれあいの道



馬頭観音群。明治時代善波峠は馬を使った行軍訓練にも使われていたようです

●国道 246 号線の歩道も関東ふれあいの道の一部です。隧道を抜ける間、次々車が横を追い越していきました。安全確認が必要です。特に登山の装備での一般道歩行は感覚が異なるので要注意です。





矢倉沢往還から国道 246 号線へ上がり善波隧道を抜ける

●方角により様々な雲が見られる日でした。うろこ雲らしきものも見えました。高積雲と呼ばれています。状況によって天気が崩れる兆しでもあるようです。登山では気象知識も重要です。





弘法山から南西方向

●登山道沿いにイノシシが土を返した跡がつづいていました。掘り返しの理由はミミズや根を探してといわれています。里山の道は人だけでなくいろいろな動物たちも利用しています。



イノシシによる掘り返し跡



人、車、シカ、イノシシ

●寒くなってトンボの群れも見なくなりましたが一匹だけ日なたに翅を休めていました。アキアカネのメスでしょうか。

